



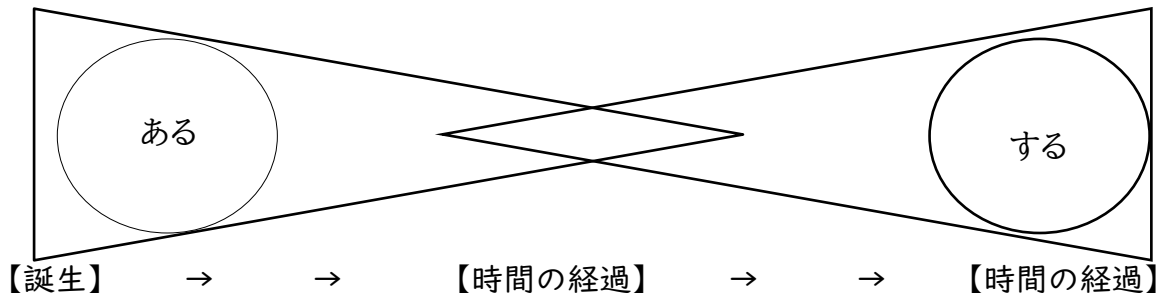
去る6月20日(月)に、名栗小学校を会場として、飯能市立小中学校校長研修会が開催されました。判りやすく言うと、飯能市立小中学校の校長が自主的に研修する集まりです。

今回は、私が講師をお願いする担当でしたので、「なぐり広場」代表の松原さんにお話をさせていただきました。ご存じの方も多と思いますが、松原さんには本校の職員、子どもたちや保護者の方々も大変お世話になっています。今回の研修でも素敵なお話を聞かせていただきました。私のフィルターを通すことになってしまいますが、一部を紹介します。



「ある」と「する」

みなさんは、自分の子どもが生まれたときに、どう感じたでしょうか。赤ちゃんがただそこに“ある”だけでよかった、嬉しかったはずですが。存在そのものを「全面肯定」していたことでしょうか。ところが、時間が経つにつれて、何かを“する”ことを求めてしまっていないでしょうか。例えば、「字が上手に書ける」、「計算ができる」、「ピアノが弾ける」、「英語が話せる」、「スポーツが上手」など。(次のような図で説明してくれました。)



親や学校が子どものよりよい成長を望むのは当然のことです。器用な子どもは、親や教師の期待に上手に答えることができます。一方で、そういうことが上手にできない子どもも多くいます。でも、どちらの子どもも、よくみると、ありのままの自分、即ちそこに“ある”ことを認めてもらいたがっているのではないかと。松原さんは、親や学校を批判しているわけではありません。むしろ共感してくれています。例えば、親に対しては「誰かの価値観で子どもをみていませんか」「みんなと同じことができるということがそれほど重要ですか」「そんなことを気にする必要はないのでは」と。学校に対しては「学校教育はそんなに大きなものを背負えるのですか」と。抗い難い何らかの価値観にわたしたちはいつも囚われているけれど、無理をせず、もっと肩の力を抜いて、そこに“ある”子どもを受け容れることの方が大切だと言っているように私は感じました。

他にも、『生きる力』とか『困難に立ち向かい解決する力』とかの言葉にすると、それはやはりある枠組みを作ってしまうことになる」とか、「今、自分の興味のあることしか受け容れられない人が増えている」とか、興味深いお話をうかがうことができました。

さて、日本人論、あるいは日本文化論では長いこと「異質なものを排除しようとするのが集団主義的な日本社会に特有の現象である」とされてきたような気がします。ですが、いや、だからこそ、名栗小学校では、「多様性の尊重」を本年度の重点目標の一つとしています。一人一人の子どもが、“あるがまま”でいられる学校を目指しています。“尊重”というのは、本来、我慢したり努力したり妥協したりすることではないはずですが、弱くて未熟な私は、つい、そのような感情を抱いてしまいます。また、自分の考えに異を唱える者に対して反感を持ったり、逆に賛同してくれる人と徒党を組みたくなったりもしてしまいます。もっと穏やかに、平らな心持ちで、淡々と多様性を受け容れられるようになりたいと、常々考えています。

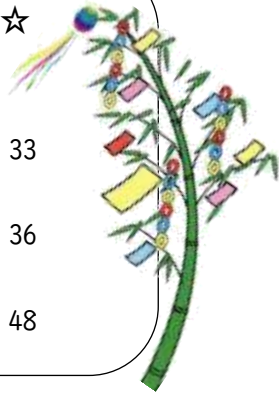
保護者の皆様、地域の皆様、今後どうぞよろしくお願ひいたします。

7月の行事予定

7/1 (金) 開校記念日	7/14 (木) クラブ
5 (火) お話朝会 授業参観・保護者会 (低・くりのみ)	18 (月) 海の日
6 (水) 短縮5時間 授業参観・保護者会 (中・高)	19 (火) 短縮4時間 給食最終日
7 (木) 委員会④	20 (水) 終業式
11 (月) 学校保健委員会	21 (木) ~ 22日 (金) 宿泊学習 4・5年生
12 (火) 児童朝会	25 (月) ~ 29日 (金) 水泳指導 9:00 ~ 11:00

☆下校時間がいつもと違います☆

7/6 授業参観 5時間	上 15:09	下 15:33
7/19 短縮4時間	上 14:09	下 14:36
7/20 短縮3時間	上 12:09	下 11:48



運動会の日程

4月に配付しました行事予定では、10月8日(土)が名栗地区大運動会になっていましたが、10月9日(日)が正しい日程です。訂正をお願いします。また、予備日は設けておりません。



* 学校公開日 *



待ちに待ったプール開き！
子ども達の歓声とモリアオガエルの鳴き声が響いていました。



飯能市小・中学校硬筆審査会の結果

6月10日(金) 飯能市小・中学校硬筆審査会が開催されました。本校から計11点が出品されました。結果は、以下のとおりです。

- | | | |
|------|-------------|---------------------------|
| 【銀賞】 | 1年：入江 泰志朗さん | 3年：新井 愛美さん |
| 【銅賞】 | 1年：砂生 弦哉さん | 2年：荻野 楓子さん |
| | 3年：小林 和樹さん | 4年：中野 あかりさん 山本 みのりさん |
| | 5年：佐野 賢樹さん | 用 岳杜さん 6年：橋本 乃春さん 向井 真緒さん |

